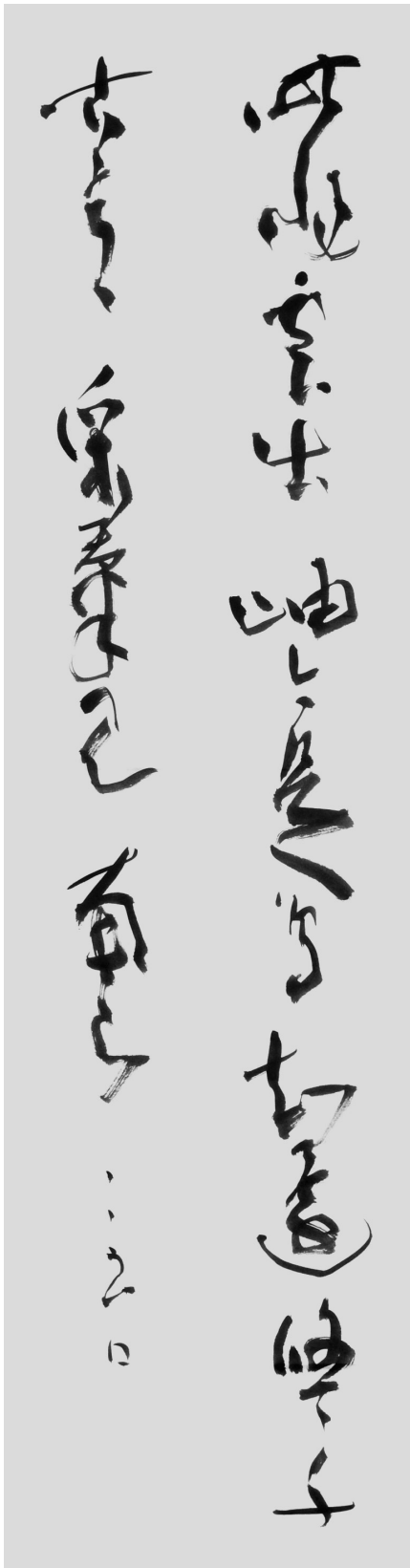


7月25日正午必着

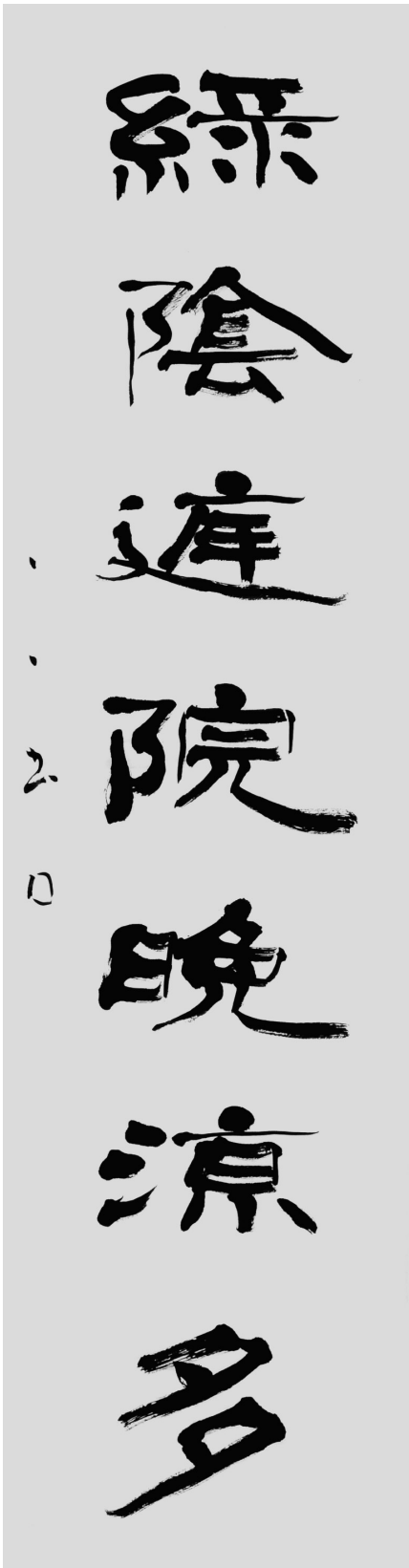
明石春浦先生書



昨非雲出岫 今是鳥知還
悠悠千古意 采菊見南山
(村上佛山)

昨は非雲岫を出づ 今は是鳥還を知る
悠悠たり千古の意 菊を采って南山を見る

明石幸子書



綠陰庭院晚涼多 (陳鵬年)

緑の木蔭の深い中庭は、夕暮ともなると、この上なく涼しい。

7月25日正午必着

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

禪房夏木深

(裴迪)

禪房夏木深し

禪寺には夏の木立ちが樹蔭を深くしている。

風生緑葉聚 波動紫莖開
含花復含實 正待佳人來

(江洪)

風生じて緑葉聚まり 波動きて紫莖開く
花を含み復た實を含み 正に待つ佳人の來たるを

風が起って緑の葉が吹き寄せられ、波が動いて紫の莖が離れる。そして菱(ひし)は花を開き、また実を結び、今や美人が採りにくるのを待っている。

登岳陽樓

(杜甫)

岳陽樓に登る

杜甫

昔聞洞庭水 今上岳陽樓
吳楚東南圻 乾坤日夜浮
親朋無一字 老病有孤舟
戎馬關山北 憑軒涕泗流

昔聞く洞庭の水 今上る岳陽樓
吳楚東南に圻け 乾坤日夜浮かぶ
親朋一字なく 老病孤舟あり
戎馬關山の北 軒に憑つて涕泗流る

むらさきの 薊の花は野におきて 名をしらぬ花 折りてかへりぬ

(清水比庵)

對酒燭分花底夜。出簾香散竹間風。

對酒燭分花底夜。出簾香散竹間風 (華幼武)

花の下にて數人酒を飲む時は燈火をわかち、竹風は簾を出で、香を散ぜしめる。

三浦士岳先生書

半紙部規定課題A

7月25日正午必着

天邊宿
霧收

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

7月25日正午必着

行書

天邊宿
霧收

隸書

天邊宿
霧收

明石春浦先生書

草書

天邊宿
霧收

行草書

天邊宿
霧收

地上見たすかぎり朝の日ざしが満ちわたり 空のはてに昨夜来の霧も消え去った
風は残雪をまじえつつ吹き起り 河の水はくだけた水を浮べつつ流れる
北方の宮門に心のすべてを捧げているが 南を指してなおも旅中の身の上
高みに上って見るかせば、もの思いははてしなく 憂愁の心を癒すところをどこに見出せよう

冬日野望

于良史

地際朝陽滿

天邊宿霧收

風兼殘雪起

河帶斷冰流

北闕馳心極

南圖尚旅游

登臨思不已

何處可消憂

冬日の野望

于良史

地際朝陽滿

天邊宿霧收

風は残雪を兼ねて起り

河は断水を帯びて流る

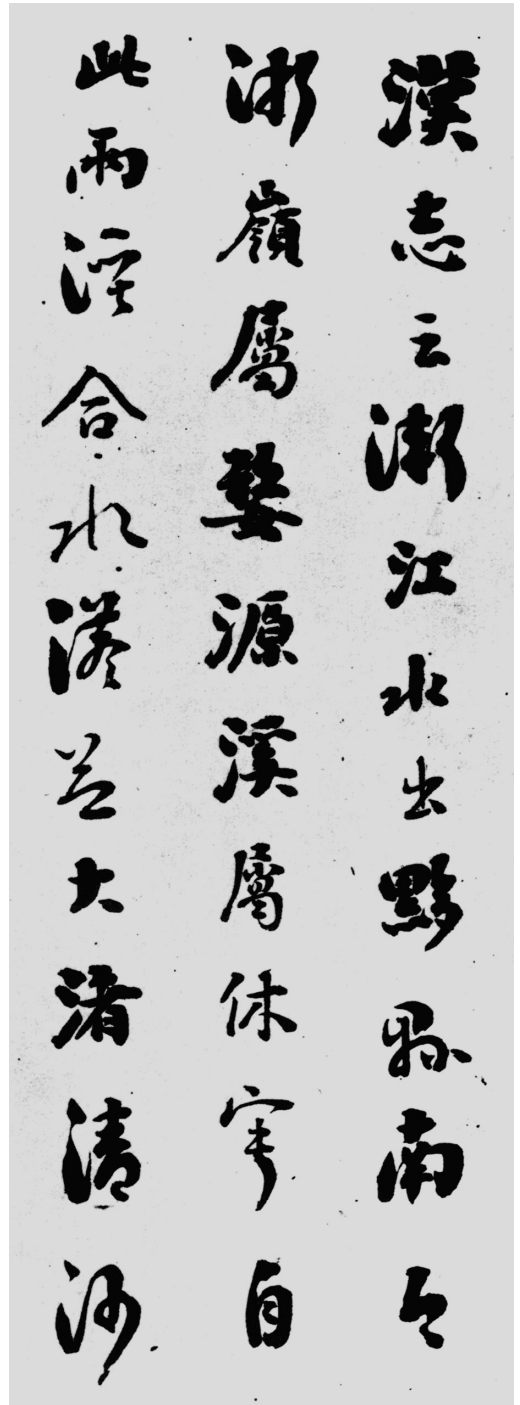
北闕心極を馳せ

南図尚お旅遊す

登臨して 思い已まず

何れの処にか 憂いを消す可き

7月25日正午必着



漢志云、浙江水出黟縣南、今浙嶺屬婺源、溪屬休寧、自此兩溪合、水渚益大、渚清沙（白）、
漢志に云う、浙江の水は黟縣の南より出づ、今浙嶺は婺源に属し、溪は休寧に属す。此より兩溪合し、水渚益ます大なり。渚清く沙（白く）、

三浦士岳先生臨書

清 劉壙・雜帖冊

劉壙（一七一九～一八〇四）山東省諸城の人。字は崇如、はじめ木庵と号し、のちに石庵と改めた。ほかに青原、香巖、日觀峰道人などと号した。

代々貴族の家柄で、父の劉統勲は東閣大学士という官職にまなつた人で、劉壙はその長子として生まれた。父に劣らず徳望があり、累進して体仁閣大学士となり、のちに太子少保が加えられたという。

彼は經史百家に通じ、詩文にすぐれ、特に書をよくしたこと
で名高い。はじめ董其昌、趙子昂を学び、壮年になり蘇東坡、
黄谷山を学び、その後、魏晋の古法におよんで、彼の書は確立
されていったと言われる。一字一字に工夫を凝らし、同じ文字
においては特に大小肥瘦や結体の變化に気を配っている。明代
の連綿草のような派手さとは対照的に想いを内へ籠めた朴訥と
した重厚さと深い情味を感じさせる。漆のごとき濃墨を用い、
濃墨宰相と称された。

（春濤）

水渚益ます大なり。渚（清く沙白く、）

水渚益
大渚

《倣書参考》

※この釈文での臨書部門の出品は出来ません。

婺源溪屬休寧自此兩
浮合水渙若大渚清沙

兩蓮池！看如在錦機
應知越女妬不敢近船飛

兩兩蓮池上 看如在錦機 應知越女妬 不敢近船飛（高青邱）

7月25日正午必着

教育部毛筆



じ ゆう けんきゅう
自由研究

中学一年

雨宮春聲先生書



ちよくしゃ にっ こう
直射日光

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



あたら まち
新 しい 町

小学五年

榎戸春龍先生書



たけ たん ざく
竹 に 短 冊

小学六年

藤井良泰先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

7月25日正午必着



藤田幸春先生書

ひ か げ

小学三年



細谷春誠先生書

のほり^{ざか}坂

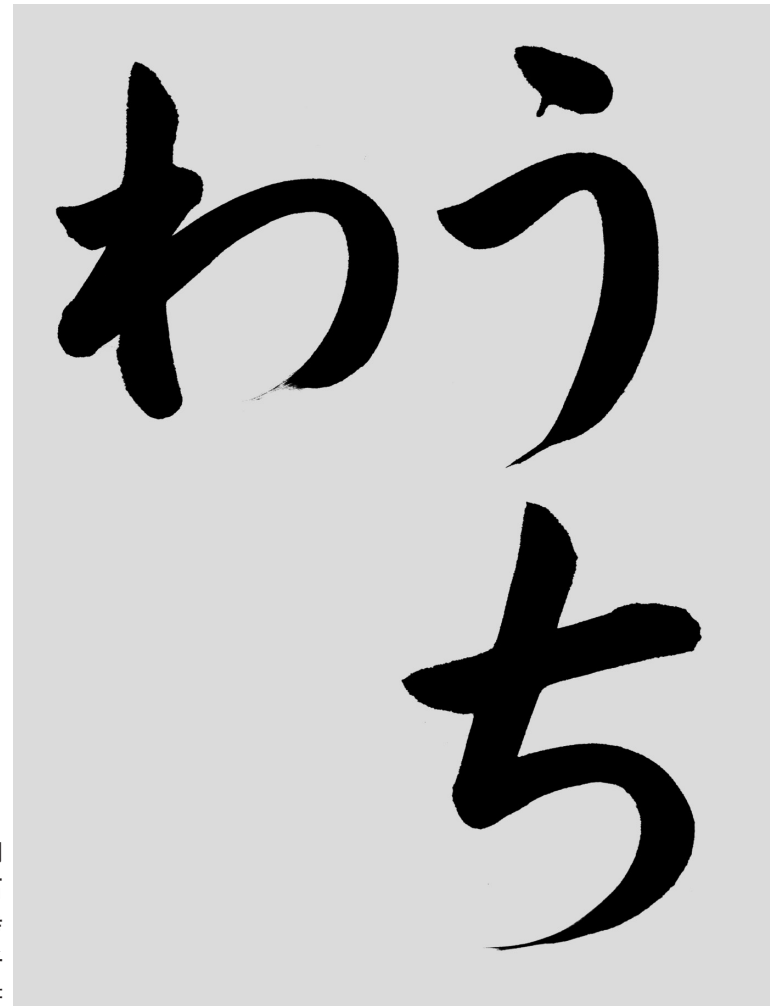
小学四年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

ば ら 小学一年・幼年



森戸春濤書

う ち わ 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

7月25日正午必着

教育部硬筆

ペン字部

星を見ながら楽し
い空想をしました

小学五年

暑中見まいのはがきを
先生や友だちに出した

小学六年

古井戸や蚊に飛ぶ魚
の音くらゐ 蕪村

中学

確固たる志を持つ者は
終りに事を成しとげる

一般(級位)

夏浅きみどりの木立庭遠み
雨降りしむる日ぐらしの宿

夏浅きみどりの木立庭遠み雨降りしむる日ぐらしの宿(京極為兼)

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

は	お
	た
か	ま
え	じ
る	ゃ
の	く
こ	し

幼 年

か	ひ
た	き
づ	だ
け	し
よ	の
う	中
	を

小学一年

あ	夜
つ	の
ま	ひ
る	か
虫	り
た	に
ち	

小学二年

花	夜
火	に
を	な
	っ
し	た
よ	ら
う	

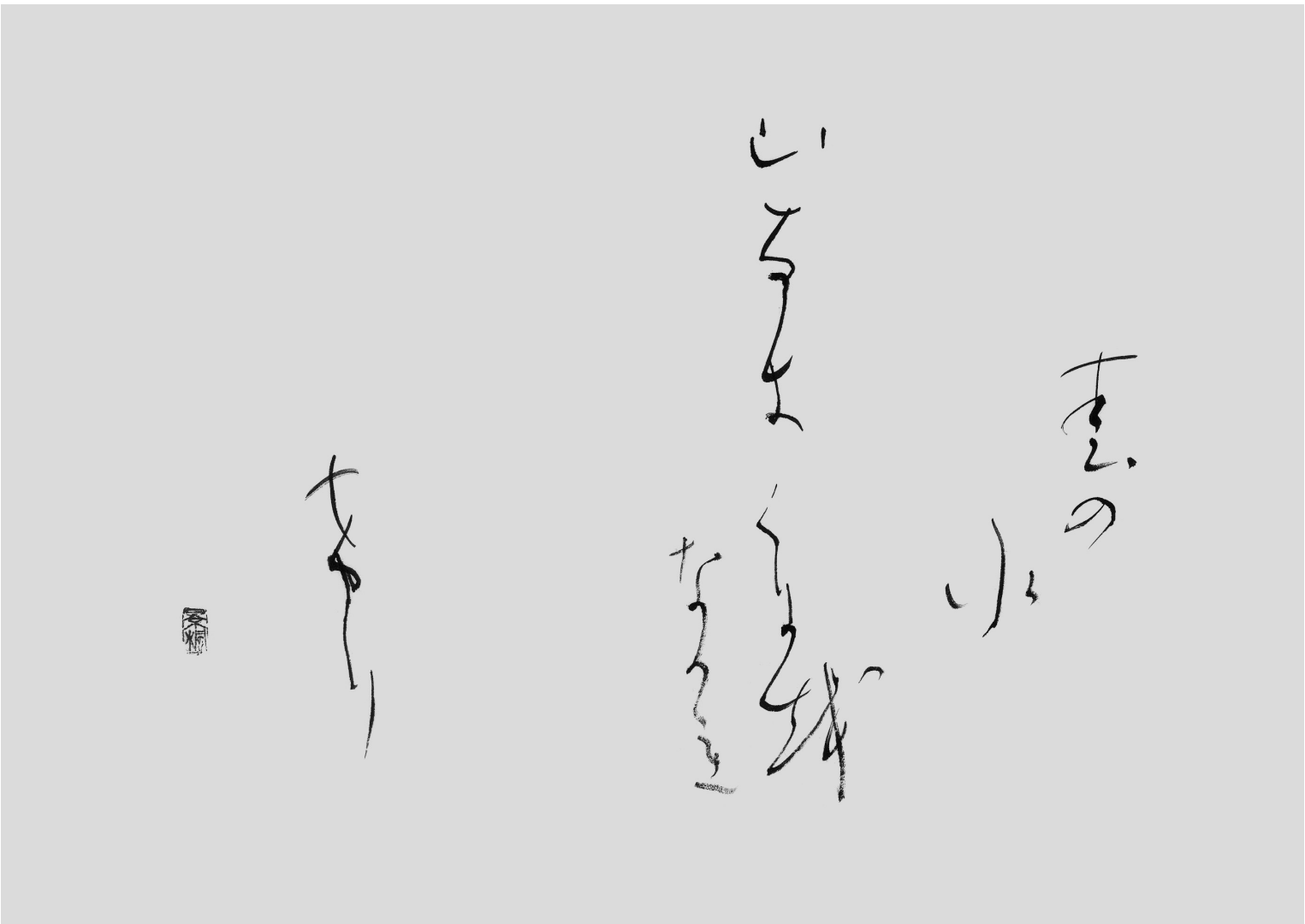
小学三年

る	部
本	屋
を	に
元	ち
に	ら
も	か
ど	っ
す	て
	い

小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

7月25日正午必着



岩本景楓先生書

春の水 山なきくにをながれけり (与謝蕪村)

奈支 尔越 可連 希